

第6号様式（第14条関係）

2015年4月9日

新宿区長 殿

法人名 NPO 法人自立化支援
ネットワーク
所在地 東京都新宿区三栄町8-37
(フリガナ) ショウブ ケイスケ
代表者氏名 理事長 生部圭助 ⑩

協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第14条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 500,000 円

1 助成対象事業

事業名	区民の情報リテラシーの向上に資する タブレットとスマートホンの講座	
事業種別	既存事業	新規事業
申請する助成の種類	NPO活動資金助成	新事業立上げ助成
過去に本助成を受けた実績	助成年度 () 事業名 () 助成年度 () 事業名 () 助成年度 () 事業名 ()	
この事業に対し他の助成の有無 (申請中のものを含む。)	有 無	有の場合は助成団体及び助成額 団体名：サムスン電子ジャパン株式会社 助成額：504,000 円
事業実施地域及び会場	四谷ひろばパソコン教室 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-20	
スケジュール (実施期間等)	<p>・全期間：2015年5月～2016年3月</p> <p>・集客を期待できる「広報しんじゅく」へ3回掲載してもらえる日程も加味して講座実施スケジュールを決める。 (7月15日号・11月5日号・1月15日号)</p> <p>2015年5月～6月：事業の全体計画 ：テキストの作成(既存テキストのカスタマイズ)</p> <p>(1) タブレット (iPad) 講座 全コース(①～③コース同じ内容)：12名・2時間を3回 ①2015年8月：iPad(7月15日号で告知) ②2016年1月：iPad(11月5日号で告知) ③2016年2月～3月：iPad(1月15日号で告知) *8月と1月はウィークデイ *2月～3月は日曜日</p> <p>(2) スマートホン (Galaxy Note3) 講座 全コース(①～⑦コース同じ内容)：12名・2.5時間を3回 ①2015年 6月：スマートホン ②2015年 7月：スマートホン ③2015年 8月：スマートホン(7月15日号で告知) ④2015年 9月：スマートホン(7月15日号で告知) ⑤2015年10月：スマートホン(7月15日号で告知) ⑥2015年11月：スマートホン(7月15日号で告知) ⑦2015年12月：スマートホン(11月5日号で告知) *すべてウィークデイの開催とする</p>	

(1) タブレットやスマートホンは時代のトレンド

世の流れは、ビジネスを除く一般の利用では、パソコンの時代からタブレットやスマートホンが重宝される時代に明らかに変化している。

タブレットやスマートホンに対する利用者の関心も高まっている。タブレットの出荷台数の伸びは著しい（下図参照）

表1. タブレット端末の国内出荷台数(年度ベース/上期・下期別)



注1 上期:4～9月、下期:10～翌年3月
注2 タブレット端末の定義:タッチスクリーン入力可能な6～11インチ程度のディスプレイを備えたスレート型情報通信端末。
注3 電子書籍専用端末は含まない。
注4 出荷台数は流通在庫分が含まれる。

区民ニーズの把握状況
(それは、どのように把握したかを含む。)

(2) 利用者（区民）のニーズ

- ・ 移動性に富み、軽量な端末を使いたい
- ・ スマートホンに関しては、「格安スマホ」も登場し、費用も軽減されるようになってきた
- ・ パソコンに比べて、作動が迅速で抵抗感なく使用できる
- ・ 社会インフラを利用して安全な生活を確保する
災害情報を瞬時に取得でき、迅速な行動に繋ぐことが出来る
- ・ 生活を便利に
情報の入手や情報の共有を簡便に行いたい（パソコンに比較して）
オンラインショッピング簡便に行いたい（同上）
- ・ 生活を楽しむ
多様なアプリを使用して、生活を優雅に楽しくしたい
- ・ コミュニケーション
テレビ電話やメールを簡単に利用したい
外出時にも SNS を利用したい
- ・ 特にシニアよりは、優しく教えてほしいとの声が多い

(3) 四谷パソコン教室の講座の受講者の声

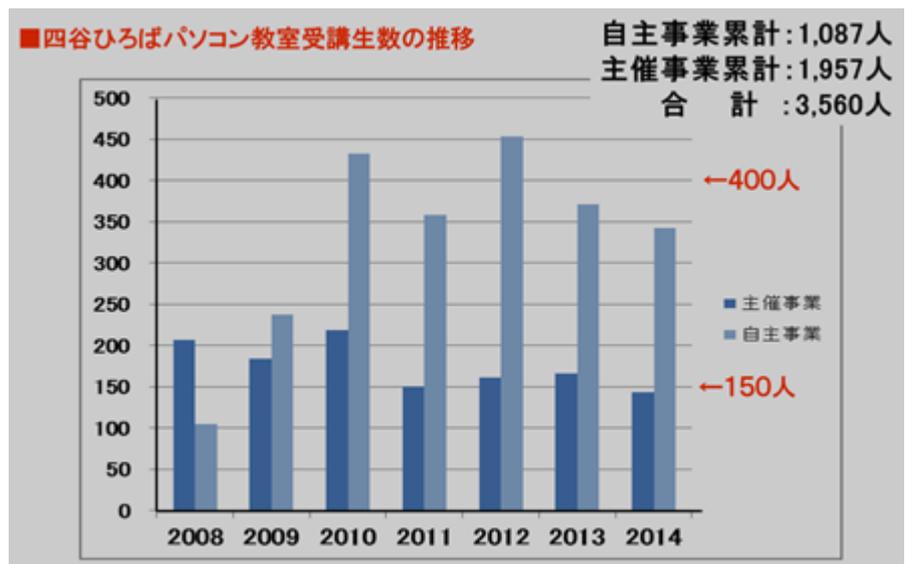
NPO 自立化支援ネットワークでは、四谷ひろばのパソコン教室で主にシニアを対象にパソコン講座を行ってきた。講座の内容はほとんどパソコンの操作と活用に関するものであった。

受講者の声として、最近普及し利用も拡大してきた、タブレットやスマートホンを教わりたいとの声が多くなっている。

(下図：四谷教室の講座の週間予定)



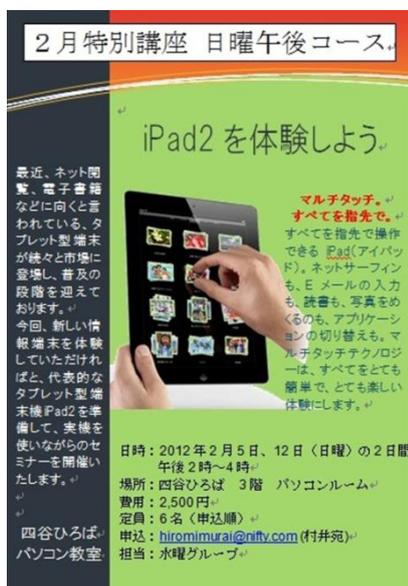
(下図：四谷ひろばパソコン教室での講座開催実績)



事業の対象者

新宿区および近隣の住民
 (シニアも歓迎)

NPO 自立化支援ネットワークでは、タブレットやスマートホンの講座の重要性を認識し、講座開催の経験がある。会員のスキルアップと、初心者向けの講座を実施するために iPad (iPad2) も 6 台購入し保有している。



活動内容

※必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等を添付し、又は印刷物等の資料を提出していただいても結構です。

しかし、iPad の型式が古くなり、講座を実施できないでいる。本事業では、最新の iPad をレンタルして講座を実施したい。

スマートホンについては、サムスン電子ジャパン株式会社より借出し、これを活用する。

1. タブレット (iPad) 講座

(0) 講座の実施計画

- (1) 機材点検・初期設定・アプリの設定・ネットワーク接続設定
(担当：講師・アシスタント・サポーター)
- (2) テキストの準備：本講座向けのカスタマイズ作成
(配布用テキストの準備：コピー)
- (3) 講座のリハーサル
- (4) 講座の実施 (全3回)

・ 1回目

開会及びオリエンテーション・自己紹介

iPad 活用事例紹介：利用の楽しさを教える

iPad の構造を知る・基本操作の習得・文字入力・音声入力など

・ 2回目

インターネットの操作と出来ることの体験・留意事項

電子メールの利用法

テレビ電話の活用

・ 3回目

タブレットを楽しく使う

写真・動画・音楽・ゲーム・ネットラジオ

電子書籍を読む

	<p>2. スマートホン (Galaxy Note3)</p> <p>(0) 講座の実施計画</p> <p>(1) 機材点検・初期設定・アプリの設定・ネットワーク接続設定 (担当：講師・アシスタント・サポーター)</p> <p>(2) テキストの準備：配布用テキストの準備</p> <p>(3) 講座のリハーサル</p> <p>(4) 講座の実施</p> <p>・1回目 開会及びオリエンテーション・自己紹介 スマホの構造を知る・基本操作の習得・文字入力・音声入力など 電話やLINE を使ってみる</p> <p>・2回目 Google マップを使ってみる カメラを使ってみる</p> <p>・3回目 災害対策について 楽しく使う：音楽・ネットラジオ・電子書籍を読む</p>																																													
<p>地域の人たちの事業 へのかかわり方</p> <p>(ボランティアとして参加する等、どのように地域の人がこの事業に参画することができるかを記入してください。)</p>	<p>・受講され方が区内から見え、講師と受講者のコミュニケーションを図り、コミュニティを醸成することが出来る。(仲良くなる)</p> <p>・受講された方が、四谷ひろばパソコン教室のことを知り、受講後、または次年度以降も、ICT への関心が深まり、対応力の向上を目指して、私たちが実施している様々な講座を受講して下さることを期待したい。</p>																																													
<p>実行体制</p> <p>(必要とされる人員とその確保のめど、必要な設備等)</p>	<p>NPO 自立化支援ネットワークでは、シニア情報生活アドバイザー養成講座を実施し、図に示すアドバイザーを養成した実績を持っている。</p> <p>(図：シニア情報生活アドバイザーを養成した数)</p> <table border="1"> <caption>シニア情報生活アドバイザーを養成した実績 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>西暦(年)</th> <th>合格者数</th> <th>受講者数(累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>15</td><td>15</td></tr> <tr><td>02</td><td>45</td><td>60</td></tr> <tr><td>03</td><td>40</td><td>100</td></tr> <tr><td>04</td><td>58</td><td>158</td></tr> <tr><td>05</td><td>28</td><td>186</td></tr> <tr><td>06</td><td>22</td><td>208</td></tr> <tr><td>07</td><td>35</td><td>243</td></tr> <tr><td>08</td><td>25</td><td>268</td></tr> <tr><td>09</td><td>22</td><td>290</td></tr> <tr><td>10</td><td>25</td><td>315</td></tr> <tr><td>11</td><td>22</td><td>337</td></tr> <tr><td>12</td><td>18</td><td>355</td></tr> <tr><td>13</td><td>15</td><td>370</td></tr> <tr><td>14</td><td>10</td><td>380</td></tr> </tbody> </table>	西暦(年)	合格者数	受講者数(累計)	01	15	15	02	45	60	03	40	100	04	58	158	05	28	186	06	22	208	07	35	243	08	25	268	09	22	290	10	25	315	11	22	337	12	18	355	13	15	370	14	10	380
西暦(年)	合格者数	受講者数(累計)																																												
01	15	15																																												
02	45	60																																												
03	40	100																																												
04	58	158																																												
05	28	186																																												
06	22	208																																												
07	35	243																																												
08	25	268																																												
09	22	290																																												
10	25	315																																												
11	22	337																																												
12	18	355																																												
13	15	370																																												
14	10	380																																												

シニア情報生活アドバイザー養成講座では

- ・パソコン、インターネット、電子メールに関する広く基本的な知識を復習し、スキルを確保する
- ・初心者（シニア）にパソコン、インターネット、電子メールの利用方法や楽しみ方をアドバイス（教える）方法を習得する
- ・上記のために、3時間の講座を8回受講し、最終日に資格認定試験を受験し合格せねばならない

現在、四谷ひろばパソコン教室ではシニア情報生活アドバイザーの有志が下記の運営組織で教室を運営している。今回の事業においても、この万全の体制で臨む。

「IDN パソコンひろば」の運営組織

- ・総括責任者：生部理事長
- ・プロジェクトリーダー：香村理事・森藤理事
チームの運営管理、講座のカリキュラムなどの方針決定
- ・講師・アシスタント登録：42名（内 講師 26名）
日常の講座の計画、準備（テキストの作成など）、
講座の実施

・事務局

総務 G	2 名
パソコン管理 G	12 名
カリキュラム G	9 名
パソコン交流会	2 名
会計 G	7 名

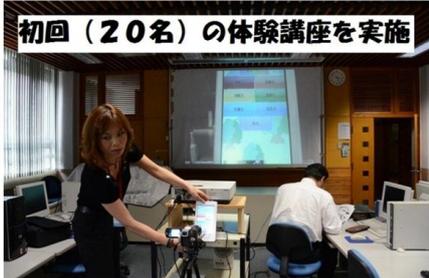
必要な設備・機材

- ・教室：四谷ひろばパソコン教室（20 席：写真参照）



- ・通信環境：同教室の光ネットワーク
教室内の無線 LAN 環境

	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット (iPad) : 最新のタイプを講座の期間のみレンタル ・スマートフォン (Galaxy Note3) : サムスン電子ジャパン株式会社より借用 SIM カードを、講座期間中利用契約する (アプリ LINE を利用するため) <p>講座に使用するテキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット (iPad) : 本事業用にカスタマイズして作成する <p>* iPad 用のテキストには、総務省が平成 26 年度の事業「ICT コミュニティ形成促進プロジェクト」で実施する講座のために作成したテキストを参考にする。なおこのテキストは、高度な内容も含まれているので、今回実施する目的に合致する様カスタマイズすることが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン (Galaxy Note3) : サムスン電子ジャパン株式会社より提供
<p>期待される成果</p> <p>区民や地域にもたらす具体的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講してタブレットやスマートフォンを利用することが出来るようになる、図に示すサービス享受することが出来る。 <div data-bbox="531 943 1423 1469" data-label="Diagram"> <p>ICTを様々な目的に利活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 10-社会インフラの利用 <ul style="list-style-type: none"> 41-地震情報を得る 42-災害時対応 43-ハザードマップ 44-災害の危険地域を知る 20-便利に使う <ul style="list-style-type: none"> 11-情報の入手 12-オンラインショッピング 13-ホテルやチケットの予約 14-地図の活用 15-乗換・ルートの検索 16-情報を共有する 17-おサイフケータイ 30-楽しむ <ul style="list-style-type: none"> 21-電子書籍を読む 22-ゲーム 23-お絵かき 24-写真撮影や写真の共有 25-テレビや動画を見る 26-テレビと連動して利用 27-音楽を聴く 40-コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> 31-メール 32-テレビ電話 33-LINE 34-Twitter 35-ブログ 36-Facebook </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地震情報など災害時の情報を早く取得することが出来、安全に避難することが出来る ・区の情報や町会・自治会の情報へアクセスする機会が増える ・ネットで買い物など、生活の利便性が向上する ・多様なアプリが利用できるようになり生活を楽しくすることが可能になる ・コミュニケーションの向上が図れるようになり、孤立防止（特にシニアにとって）に役立つ ・受講生相互及び講師陣とのコミュニティの向上を図ることが出来る。これは日常的に実施しているパソコン教室での経験から言えることである。

	<p>申請事業を実施することによる貴団体の活動への効果</p>	<p>従来は、パソコンを中心に講座を実施し、区民へのICTの普及及びリテラシーの向上に注力してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を実施する我々及び受講者が、「時代は、タブレットとスマートフォン」であるとの認識が向上する ・タブレットとスマートホンの講座を実施することにより、パソコンだけでなく、両者への対応力（スキル及び教え方）の向上を図ることが出来る ・目的に合致したテキストを保有できることは、次年度以降の活動を行う際の助けとなる
	<p>貴団体の経営基盤強化に向けた取り組みと今後の展望</p>	<p>ICTの日進月歩は激しい。四谷教室でのICTの講座での質を向上させるために、新しい機材の整備、講師やアシスタントの知識や教え方のスキルの向上を図ってきた。</p> <p>体験講座実施状況</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>端末 Life Touchを20台準備する</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>初回（20名）の体験講座を実施</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ビデオカメラで画像を投影する</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>スマートパッド体験講座受講風景</p> </div> </div> <p>今年度、新しい情報端末（タブレットとスマートフォン）の講座を実施して蓄えたノウハウを生かしながら、次年度もさらに多くの方が社会参加を意識し、ICTの有益で楽しい使い方を教えるように努力してゆきたい。</p>

2 助成対象事業費内訳（積算根拠）

※協働推進基金助成金は、助成申請額を入れて積算して下さい。

※入場料又は会費を徴収して行うイベント、公演等は、必ず単価を入れてください。

(G)

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			141,800円
	参加費・資料代等			円
	その他の収入	・サムスン電子ジャパン株式会社より @6,000円*12名*7コース=504,000		504,000円
	協働推進基金助成金	助成希望額		500,000円
	計			1,145,800円
支出 (助成の対象になる事業費の内訳)	費目	予算額	内訳	
	会議費	54,600円	四谷ひろばパソコンルーム利用料 ・打合せ（午後）：@1,900*3回=5,700円 ・タブレット講座（午前）： @1000円*3回*3コース=9,000円 ・スマホ講座（午後）： @1,900円*3回*7コース=39,900円	
	宣伝費	円		
	リース費	438,100円	・iPadリース料（受講生12名&講師1名、運搬費を含む） 本体：@5,900*13台*3カ月=230,100 運搬費用：26,000*3=78,000 ・SIMカードレンタル代：（受講生12名&講師1名） @3,000*13台+@1,000円*13台*7カ月=130,000	
	消耗品費	23,000円	・コピー用紙（A4）：1円*100頁*130名=13,000 ・印刷インク代：10,000	
	謝礼	円		
	人件費	150,000円	・講師スタッフ打ち合わせ： @1,000*10人*3回=30,000 ・タブレット講座： 講師：@1,200*1名*2h*3回*3コース=21,600 アシスタント： @1,000*3名*2h*3回*3コース=54,000 ・スマートホン講座： 講師：@1,200*1名*2.5h*3回*7コース=63,000 アシスタント： @1,000*3名*2.5h*3回*7コース=157,500 ・設定作業：1,000円*1.5h/台*（39+13）台=78,000 （タブレット：13台*3回 スマホ：13台*1回） *404,100の内254,100は助成対象外事業費へ	
	材料費	円		

	交通費	166,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ：1,000*10 人*3 回=30,000 ・タブレット：1,000*4 人*3 日*3 コース=36,000 ・スマホ：1,000*4 人*3 日*7 コース=84,000 ・設定作業：1,000* (タブ 12+スマホ 4) =16,000
	その他諸経費	60,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト作成費（本講座用にカスタマイズ） タブレット用（1 回目・2 回目・3 回目を分担）： @20,000*3 人=60,000
	助成対象事業費（小計）	891,700 円	
	助成対象外事業費	254,100 円	人件費：助成対象外事業費分
	事業総額		1,145,800 円

3 その他

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、助成対象事業の遂行は可能ですか。

(はい ・ いいえ)

助成対象経費

下記項目以外の経費（飲食費等）は、対象といたしません。

項目	経費の種類
①会議費	打合せ、会議資料コピー代、会場使用料等
②宣伝費	チラシ、ポスター等作成費
③リース費	事業に直接必要な機器の賃借料
④消耗品費	事務用品の購入費
⑤謝礼	講師、協力団体等への謝礼（1 時間当たり 1 万円を限度とし、1 日当たり 3 万円を限度とする。）
⑥人件費	事業実施に直接関る事業主体の人件費として時間単価 1,000 円、1 日あたり 1 人 4,000 円を上限として、かつ助成対象事業費の 20%以内
⑦材料費	事業に直接必要な材料の購入費
⑧交通費	公共交通機関の交通費、講師との事前打合せのための交通費等（タクシー代は除く。）
⑨その他諸経費	損害保険料、郵送料等（チャリティ募金、寄附金等は除く。）